

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	玉川学園子どもクラブこころ児童館		
施設概要	【所在地】町田市玉川学園3-35-45 【開設年月】2003年 【開所日時】月曜日～土曜日／10時～18時 【建物面積】延床面積439.2㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造(一部木造)1階 【施設内容】多目的ホール、図書コーナー、幼児コーナー、母親コーナー		
設置目的	楽しい遊びと子どもの文化創造の場を提供し、児童の健全な育成を支援するため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市子どもセンター条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-4097
施設ホームページURL	http://www.korokorojidooukan.com/		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグポート	法人番号	6012305001229
指定管理者所在地	町田市玉川学園2-3-37		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)子どもクラブの事業の実施に関する業務・・・遊びの提供および子育て支援事業等 (2)子どもクラブの使用の承認に関する業務・・・施設の貸し出し等 (3)子どもクラブの施設および設備の維持管理に関する業務・・・点検、修繕等 (4)その他市長が指定した業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
地域への貢献、相互支援と広がり	毎年度	・町田市内外の大学からの教育実習生の受け入れは3校。玉川大学の 実習生は年間を通して12名受け入れを行った。 ・年間を通して「子ども110番の家」とりまとめ、7月には地域の代表を集 めての懇親会を開催し、地域の防犯について意見交換を行ったほか、例 年行っている「こころハロウィン110番の家巡り」も実施した。 ・11月には近隣の小学校・幼稚園・保育園と合同で子どもたちを守る合 同防災訓練を実施した。 ・2月には棒サッカー推進協議会・町内会第一地区と共催で「棒サッカー こころカップ」を開催、地域住民の交流の場を提供した。
多種多様な児童館事業 ・新事業「アルケミストのしぜん工作」 ・夏休みの新事業「ドライバーを持って 集まろう！自転車解体屋を募集し ます」	毎年度	・提案時の「アルケミストのしぜん工作」はレギュラー企画となったが講師 の都合により本年度は実施を見送った。2024年度は回数を減らしながら 実施を目指すこととなった。「ドライバーを持って集まろう」は予定通り実 施。 ・コロナ禍において自粛傾向にあった食の体験に関する行事を再開、コ ロナ禍以前から行っていた「Try it」や「バームクーヘンづくり」に加え、 「節約クッキング」として季節の折り目ごとに料理イベントを実施した。
自主事業「まち・まるごとオレンジ大 作戦」 ・近隣施設のデイサービス校実会と 連携し、高齢者と子どもが一緒に調 理活動を行うことで交流を深める。	毎年度	・提案時の自主事業である「オレンジ大作戦」は2019年度に終了したが、 子どもと高齢者との交流事業として「棒サッカーで地域を元気に！」を実 施。2月には「棒サッカーこころカップ」を棒サッカー推進協議会・町内会 第一地区と共催で実施し、年齢を超えた地域住民との交流を提供した。 ・10月からは新たに東京都福祉財団の助成を受けて「子どもが輝く東京・ 応援事業 たき火の学校」がスタート、火を楽しく扱いながら防災に関す る知識を身につける様々な体験を実施した。 ・日本NPOセンターの助成を受け「つながる防災」を実施。地域の中の防 災意識が高まった。

3. 昨年度の課題

内容	・新事業による地域とのつながりの強化 ・地域防災への関わり ・子どもたちの自主活動の一層の拡大
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	A
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	・選定時の提案内容については、地域と連携した取り組みを継続しつつ、「たき火の学校」や「つながる防災」といった新たな事業を実施するなど積極的な取り組みを行っていた。 ・昨年度の課題については、新事業である「たき火の学校」を実施することで地域とのつながりの強化を図っていた。また、地域の防災意識の醸成を目的として「防災プロジェクト」を年間を通して実施していた。子どもたちの自主活動については、「子ども委員会」の活動に新たに防災を取り入れることで取組を拡大していた。 ・サービスの質については、「利用者満足度」及び「事業参加率」はそれぞれ95.9%、92.4%と高い水準を維持しており、「来館者数」も34,106人と目標値を達成していることから、質の高いサービスを提供していたと評価できる。 ・履行状況については、全ての項目で要求水準を満たしている。また財務・収支状況については、概ね適切に執行している。 以上を勘案し総合評価をAとした。

【評価対象年度 2023年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ころころセミナー～坂道の途中で考えた～」を実施、坂の町玉川学園で防災を考える一歩として、子どもたちが地域の住民と坂道の角度や長さを測定し、玉川学園の坂にはどのような特徴があるのかを調べた他、町内会の防災担当や消防団の団員と防災について意見交換を行った。 ・「ころころ小春祭～グスコブドリの思いをつなぐ～」を実施。「防災プロジェクト」と絡め、各団体が防災をテーマにブースを出展し活動を行った。
	<p>【修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水桝と排水管の隙間に木の根が詰まり、これまで年1度の大規模清掃が必要だった。市の施設法定点検の指摘もあり、今年度は根本的解決を行うべく、排水桝の全交換を行った。 <p>【課題になっていたもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新事業による地域とのつながりの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会第一地区と協力し、「棒サッカーころころカップ」を実施し、今まで児童館に来たことのない住民とのつながりができた。 ・「子ども110番の家」事業にてコロナ禍後を見計らって初の懇親会を実施。地域の会員や駐在所員の方を招き、近況やもしもの時の対応について意見交換を行った。 ②地域防災への関わり <ul style="list-style-type: none"> ・「防災プロジェクト」を年間を通して実施、地域の防災にころころ児童館の事業を通して子どもたちと共に取り組み、災害時にどう避難するか、自分たちに何が出来るかを考えるきっかけとなった。 ③子どもたちの自主活動の一層の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども委員会」にて活動を実施、「南大谷子どもクラブの夏祭り」「ころころ小春祭」において出店やブース運営を行った他、年間を通して「防災プロジェクト」に協力。12月には「子ども委員会のクリスマス会」を実施し、児童館に来館する子どもたちの代表として事業に貢献した。その結果、来館者に子ども委員会の存在をアピールすることができた。

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査期間】2024年1月10日～2月28日</p> <p>【配布枚数】(小学生～18歳)110枚、(保護者)54枚 【回収枚数】(小学生～18歳)110枚、(保護者)54枚</p> <p>【回収率】(小学生～18歳)100%、(保護者)100% 【調査方法】調査票手渡し回収、回収箱への投函</p>
------	---

指標1		評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度		A:90%以上 B:75%以上90%未満 C:75%未満 ※小学生～18歳用設問2①、保護者用設問2⑨に対して、満足、やや満足と回答した人の割合		95%	95.9%	A
指定期間内における実績(単位: %)						
年度	2020	2021	2022	2023	2024	
目標値	95	95	95	95	95	
実績値	98.0	100.0	96.2	95.9		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
来館者数	A:34,800人以上 B:29,000人以上34,799人以下 C:28,999人以下	33,350人	34,106人	B	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	33,350	33,350	33,350	33,350	33,350
実績値	22,081	28,412	30,387	34,106	

指標3		評価基準		目標	結果	評価
事業参加率		定員を設定した事業の参加率の平均 A: 90%以上 B: 60%以上～90%未満 C: 60%未満		90%	92.4%	A
指定期間内における実績(単位: %)						
年度	2020	2021	2022	2023	2024	
目標値	90	90	90	90	90	
実績値	129.9	94.0	94.3	92.4		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	<p>「利用者満足度」及び「事業参加率」はそれぞれ95.9%、92.4%と目標値を達成し、高い水準を維持している。「来館者数」についても34,106人とわずかにA評価の基準に届かなかったが、目標値を達成した。</p> <p>以上を勘案し総合評価をAとした。</p>

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者への平等な取扱い	利用者層に応じた事業の提供	毎月のお便りや実績報告書にて、利用者層に応じた事業を提供していることを確認した。	適
	施設情報等の発信	毎月のお便りやホームページ等での施設情報の発信	適宜、施設情報を発信していたことを毎月のお便り及びホームページで確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・年間計画に基づく事業の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業計画書及び実績報告書にて、計画に基づき事業を実施していることを確認した。	適
	市への報告書類の提出	仕様書に定める期間内の提出	仕様書に定める期間までに必要書類が適切に提出されたことを各種報告書類にて確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	安全点検表及び設備点検記録にて、施設の保守点検を仕様書に定める頻度で実施していることを確認した。	適
個人情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制	登録票等の個人情報に関する書類の施錠管理	実地調査にて、登録票等の個人情報に関する書類を施錠管理していることを確認した。	適
	情報公開体制	公開請求に備えた必要書類の適切な管理	実地調査にて、必要書類を適切に管理し、請求に備えていることを確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	法人の苦情対応フロー及びマニュアルにて、適切な対応ルールを定めていることを確認した。	適
	要望の受付体制	意見箱の設置	実地調査にて、意見箱の設置を確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	体制の整備、仕様書に定める保険への加入	法人の緊急対応マニュアルにて、対応方策を整備していることを確認した。また、保険証書にて、仕様書に定める保険への加入を確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	事故等が発生した際には、報告書を作成していることを確認した。また、法人の緊急対応マニュアルにて、適切な対応手順を整備していることを確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	仕様書に基づく職員配置基準を満たした配置・防火管理者の配置	月次報告書にて、職員配置基準を満たしていることを確認した。また、防火管理講習の修了証にて、防火管理者の配置を確認した。	適
	職員研修の実施	職員全員の研修の受講	研修一覧にて、職員全員が研修を受講していることを確認した。	適
管理経費の縮減	物品の管理	異動時の報告及びたな卸の実施	物品台帳にて、異動時の報告及びたな卸しを適切に実施していることを確認した。	適
	管理運営経費の縮減	経費の削減又は取組み	実績報告書にて、緑のカーテンやサーキュレーターによる空調効率改善等の取組が行われていることを確認した。	適
地域貢献	地元団体との連携	地元団体との積極的な連携	実績報告書にて、地区協議会や近隣大学等との連携を図っていることを確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	職員調書にて、市民雇用率が100%であることを確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年10月26日に、玉川学園子どもクラブこころ児童館でモニタリングを実施し、全ての確認事項で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年10月26日に、玉川学園子どもクラブこころ児童館でモニタリングを実施し、全ての確認事項で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理業務の履行状況は全ての確認事項が「適」であった。 会計・経理モニタリング、労働条件モニタリングはいずれも全ての確認事項が「適」であった。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2020		2021		2022		2023		2024	
項目		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	24,609	24,609	28,704	28,704	29,828	30,164	30,242	30,242	30,193	
	利用料金	—	—	—	—	—		—		—	
	雑収入	0	0	0	43	0	49	0	82	0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自主事業	—	—	—	—	100	100	300	300		
	計	24,609	24,609	28,704	28,747	29,928	30,313	30,542	30,624	30,193	0
支出	人件費	20,546	19,952	20,754	18,775	21,050	20,553	21,218	20,941	21,386	
	管理費	630	590	637	659	719	679	401	774	678	
	運営費	870	621	870	720	1,249	731	1,249	856	1,249	
	精算する経費	0	0	3,880	4,862	3,880	4,216	4,444	4,444	3,880	
	間接経費	2,563	382	2,563	1,229	2,930	1,343	2,930	1,360	3,000	
	自主事業	—	—	—	—	100	27	300	20		
計		24,609	21,545	28,704	26,245	29,928	27,549	30,542	28,395	30,193	0
総計(収入-支出)		0	3,064	0	2,502	0	2,764	0	2,229	0	0

(2)指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	11.6	9.3	9.3	11.5	
負債比率	33.1	22.2	17.7	21.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。 経常利益率がマイナスとなっていないこと及び負債比率も100を下回っていることから、今後も安定した施設運営が可能であるとする。